

2021 夏期補講

講義資料 **【公衆衛生学】**

目次

1～6 公衆衛生の社会的仕組みについて

7～10 感染症、環境に関わる公衆衛生学

11～16 保健制度のイロイロ

学籍番号：

氏名：

1 健康と病気

健康の概念

日本国憲法：国民は、**健康**で文化的な最低限度の生活を営む**権利**を有する

WHO 憲章：健康は**身体的**にも**精神的**にも**社会的**にも調和のとれた良好な状態をいい、
単に病気がない病弱で無いという事ではない

WHO：国連の専門機関。各国への技術的援助、疫学や衛生統計的事業、保健衛生の向上を行う

病気の概念

医学的に診断された心身の異常 ⇒ 疾病 疾患 傷病 という

社会生活に関わってくる心身の異常

身体障害者の健康

機能障害(インペアメント)：白内障を患った。

能力低下(ディスアビリティ)：白内障の為、新聞が読めない

社会的不利(ハンディキャップ)：視力障害の為、就職が不利になる。

練習問題

WHO の健康の定義について正しいのはどれか。

- 1 自覚的に健康と思う状態をいう
- 2 精神的に健康な状態をいう
- 3 肉体的にも精神的にも社会的にも良い状態をいう
- 4 病気でない状態をいう

WHO の活動はどれか。

- 1 労働者の健康増進
- 2 開発途上国の児童教育支援
- 3 国境なき医師団の設立
- 4 保健統計の収集

2 疾病の予防

予防の概念

発病を防ぐだけではなく、発病後の病気の悪化を防ぐことまでを含む。(包括的予防体系)

予防の段階

第1次予防 【発生の防止】

健康増進

(生活環境の改善 適切な食生活 運動の励行 禁煙 ストレス解消 健康教室)

特異的予防

(予防接種 事故防止 職業病対策 公害防止対策)

第2次予防 【発症の予防】

早期発見

(健康診断、人間ドック、がん検診、集団検診)

第3次予防 【進行防止・社会復帰】

悪化防止、治療、リハビリテーション

(治療、デイケア、理学療法・作業療法、機能回復訓練、日常生活動作訓練、職業訓練)

練習問題

予防医学で第1次予防はどれか。

- 1 リハビリテーション
- 2 プライマリケア
- 3 健康診断
- 4 禁煙

第2次予防はどれか。

- 1 健康教育
- 2 予防接種
- 3 早期発見
- 4 栄養教室

誤っている組み合わせはどれか。

- 1 第1次予防 — 健康増進
- 2 第2次予防 — 予防接種
- 3 第3次予防 — 社会復帰
- 4 包括保健 — 総合的保健

3 健康管理

健康管理の意義

- 1 健康を保持、増進し、疾病や災害を予防する
- 2 発病に歯早期発見、治療をし、適切なリハビリテーションを行う
- 3 1・2を合理的、組織的に行い、有意義な生活（QOL）を確保する。

集団検診（スクリーニング検査）

目的：疾病の発見

対象：集団を対象に健康診断を行う

条件：公衆衛生上重要である

テストの**診断精度が高い**（感度・特異度・的中度）

該当する疾患の罹患率、死亡率が高い

早期発見の効果がある

検査法が安全で受診者に受け入れられる方法

費用対効果のバランスが取れている

スクリーニング検査とは…

ふるい分け検査のこと。疾病の疑いのある者を一定の検診項目によって選び直すこと

4 健康増進

運動・活動は、HDLを高め、動脈硬化を防ぐ作用がある

休養として、最も重要なのは睡眠。1日7～8時間程度。

ストレス解消として、余暇を持つことが重要

適正飲酒を心掛ける。乱飲は健康を害する。

禁煙が重要。肺癌や胃がん、虚血性心疾患などのリスクが高まる。（日本人男性の喫煙率は先進国1位）

対人関係網 ソーシャルネットワークが発達している方が健康増進に有利。

5 衛生行政

地域保健：対象は一般住民や老人、自営業、農業従事者、乳幼児、保育園児、妊産婦

厚生労働省が管轄で、自治体では**保健所**や社会福祉事務所が担当

学校保健：対象は幼稚園児、学童、生徒、学生、教職員

文部科学技術省が管轄で、自治体では**教育委員会**が担当

産業保健：対象は雇用者、内職従事者、外国人雇用者

厚生労働省が管轄で、自治体では**労働基準局、労働基準監督署**が担当

環境衛生：環境庁が管轄で行う。

学校保健と産業保健は第3日目で詳しく行います。

5 保健所

役割：疾病予防、地域における公衆衛生活動の中心機関 人口 10 万人に 1 か所の設置が基準

所長：医師が務める

業務：人口動態統計、地域保健に関する統計 人口動態統計＝国勢調査

母性および乳幼児、老人の衛生に関すること

歯科保健、精神保健に関すること

特殊な疾病により長期療養を必要とする者の保健に関すること

エイズ、結核、性病、伝染病などの疾病予防に関すること

保健師に関すること

住宅、水道、下水道、廃棄物処理などの環境衛生に関すること

環境衛生関連営業（理髪、浴場、美容、旅館）の監視や指導

衛生上の試験および検査に関すること

地域保健に関する思想の普及及び向上に関すること

栄養改善および食品衛生に関すること

医事および薬事に関すること など

練習問題

保健所の業務で正しいのはどれか。

- 1 学童、生徒の健康管理
- 2 外国人雇用者の健康管理
- 3 一般住民の健康管理
- 4 教職員の健康管理

保健所が行う環境衛生対策で誤っているのはどれか。

- 1 食中毒の予防
- 2 食品衛生の監視
- 3 美容室の衛生管理
- 4 騒音の監視

保健所の事業でないのはどれか。

- 1 人口動態統計
- 2 歯科保健
- 3 食品衛生
- 4 労働者災害補償給付

6 医療制度

医療従事者 人口ランキング（平成 20 年調べ）

1 位 看護師 918,263 人 准看護師 397,237 人

2 位 医師 286,699 人

3 位 薬剤師 267,751 人

4 位 就業あん摩マッサージ指圧師 101,913 人

5 位 歯科医師 99,426 人

6 位 就業はり師 86,208 人

7 位 歯科衛生士 84,777 人

8 位 就業きゅう師 84,629 人

9 位 臨床検査技師 59,759 人

10 位 保健師 51,703 人

他 診療放射線技師 46,115 人 理学療法士（PT） 45,358 人 就業柔道整復師 43,946 人

助産師 30,130 人 作業療法士（OT） 26,261 人 臨床工学技士 16,559 人

歯科技工士 11,651 人 言語聴覚士 8,583 人 視能訓練士 5,603 人 義肢装具士 141 人

医療施設の種類

診療所：病床数 19 床以下、同一患者を 48 時間以上収容しない

病院：病床数 20 床以上

総合病院：病床数 100 床以上 内科、外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科の 5 科があること

地域医療支援病院：病床 200 床以上 救急医療を提供する能力を有する

特定機能病院：病床 500 床以上 高度な医療を提供できる施設を有する

療養型病床群：長期療養患者が対象

医療の機能分類

第 1 次医療：住民にとって最も基本的かつ重要な医療 地域の第一線の医療機関

第 2 次医療：プライマリケアよりもさらに専門化した医療

第 3 次医療：さらに高度な専門的な診察を行う

プライマリ・ヘルスケア：アルマアタ宣言で採択。包括的に地域住民の健康管理を行う基本的保健活動

アルマアタ宣言：プライマリヘルスケア オタワ憲章：健康増進について

ヘルシンキ宣言：インフォームドコンセント・医の倫理

トリアージタグ：被災現場における治療優先順位

医療制度

公費医療 ＝ 税金によってまかなわれる。（公的扶助という）

生活保護法による医療扶助

身体障害者福祉法による更生医療

児童福祉法による育成医療

老人保健法による保健事業

特定疾患に対する治療費 など

練習問題

最も人口の多い医療専門職はどれか。

- 1 医師
- 2 看護師
- 3 薬剤師
- 4 就業はり師

プライマリヘルスケアに該当するのはどの区分か。

- 1 第1次医療
- 2 第2次医療
- 3 第3次医療
- 4 終末期医療

プライマリヘルスケアを採択したのはどれか。

- 1 オタワ憲章
- 2 WHO 憲章
- 3 アルマアタ宣言
- 4 ヘルシンキ宣言

誤っている組み合わせはどれか。

- 1 アルマアタ宣言 — プライマリヘルスケア
- 2 WHO 憲章 — 健康の定義
- 3 オタワ憲章 — ヘルスプロモーション
- 4 ヘルシンキ宣言 — 地球環境保全

地域医療支援病院について誤っているのはどれか。

- 1 病床数 200 床以上
- 2 高度な医療を提供する能力を有する
- 3 救急医療を提供する能力を有する
- 4 従事者の生涯教育が充実している

公費医療制度と定める法律について、誤っているのはどれか。

- 1 医療扶助（医療法）
- 2 更生医療（身体障害者福祉法）
- 3 育成医療（児童福祉法）
- 4 保健事業（老人保健法）

7 食品と栄養

三大栄養素 ()、()、()

脂肪は量と質が重要！！

動物性脂肪：動脈硬化を促進してしまう

植物性脂肪：動脈硬化や心疾患を抑制する

魚介系脂肪：動脈硬化や心筋梗塞を抑制する 青魚に含まれる EPA は血栓を防止する

HDL(善玉)：末梢から遊離コレステロールを取り込む作用 = 動脈硬化予防

LDL(悪玉)：肝から血中や組織に分泌される = 増加するとアテロームを促進する

日本人の栄養傾向

カルシウム、鉄分は不足傾向

食塩は過剰傾向

ごはん離れにより穀類の消費は減少傾向

動物性タンパク質と脂肪は増加傾向

ビタミンと欠乏症

ビタミン A：夜盲症 含有食品⇒乳製品やレバー 過剰になると奇形出産や脳圧亢進など

ビタミン B1：脚 気 含有食品⇒豚肉、豆類

ビタミン B2：口角炎 含有食品⇒レバー、卵、納豆など

ビタミン C：壊血病 含有食品⇒果実、野菜

ビタミン D：くる病 含有食品⇒魚の内臓、しいたけなど 過剰になると腎障害など

ビタミン E：不妊症 含有食品⇒植物油、牛乳など

ビタミン K：出血傾向 含有食品⇒納豆など

ニコチン酸：ペラグラ ニコチン酸はビタミン B の複合体

練習問題

日本人の最近の栄養取得状況について、減少しているのはどれか。

- 1 タンパク質
- 2 脂質
- 3 糖質
- 4 食塩

最近の我が国の栄養取得状況について、誤っているのはどれか。

- 1 カルシウムは充足している
- 2 食塩は取りすぎ傾向である
- 3 動物性脂肪は増加傾向である
- 4 炭水化物は減少傾向である

栄養素とその欠乏症の組み合わせで正しいのはどれか。

- 1 カルシウム — 脚気
- 2 ビタミン D — 骨軟化症
- 3 タンパク質 — 夜盲症
- 4 ビタミン K — ペラグラ

8 感染症について

感染症法の分類

1 類感染症

エボラ出血熱 クリミアコンゴ出血熱 痘そう／天然痘
南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱

2 類感染症

急性灰白髄炎／ポリオ 結核 ジフテリア
重症急性呼吸器症候群／SARS 鳥インフルエンザ（H5N1）

3 類感染症

コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症／O-157
腸チフス パラチフス

4 類感染症

A 型肝炎 E 型肝炎 狂犬病 黄熱 オウム病 ツツガムシ病 デング熱
マラリア 野兎病 ライム病 発疹チフス 鳥インフルエンザ（H5N1 以外） 日本脳炎
ボツリヌス症 ウエストナイル熱 エキノコックス症 オムスク出血熱 回帰熱
キャサナル森林病 Q 熱 コクシジオイデス症 サル痘 腎症候性出血熱 西部ウマ脳炎
ダニ媒介脳炎 炭疽 チクングニア熱 東部ウマ脳炎 ニパウイルス感染症 日本紅斑熱
ハンタウイルス肺症候群 B ウイルス病 鼻疽 ブルセラ病 ベネズエラウマ脳炎
ヘンドラウィリス感染症 リッサウイルス感染症 リフトバレー熱 類鼻疽
レジオネラ症 レプトスピラ症 ロッキー山紅斑熱

5 類感染症

A 型 E 型以外のウイルス性肝炎 アメーバ赤痢 急性脳炎 クロイツフェルトヤコブ病
HIV 髄膜筋性髄膜炎 梅毒 破傷風 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 ジアルジア症
先天性風しん症 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 バンコマイシン耐性腸球菌感染症

経口伝染病

細菌性のもの : 赤痢 腸チフス パラチフス コレラ 病原性大腸菌 O-157
ウイルス性のもの : ポリオウイルス A 型肝炎ウイルス ノロウイルス

血液感染症（交差感染症）

B 型肝炎ウイルス C 型肝炎ウイルス HIV 梅毒

寄生虫と症状

アニサキス（線虫）： 激しい腹痛が特徴 海産魚類から経口感染する
日本住血吸虫 ： 肝硬変 宮入貝に寄生している ヒトの皮膚から侵入
有鉤条虫 ： 囊虫症 豚肉の生食

食中毒のイロイロ

感染型 ： 腸炎ビブリオ サルモネラ 病原大腸菌 カンピロバクター
 （菌が体内で増殖する 夏に多発する）
毒素型 ： 黄色ブドウ球菌、ボツリヌス菌
 （菌が産生する毒素が体内に入る中毒）

腸炎ビブリオ：潜伏期間は 14 時間 魚介類の生食が原因 加熱に弱い
サルモネラ ：潜伏期間は 20 時間 家畜、野生動物のし尿汚染が原因 十分に加熱が必要
病原大腸菌 ：潜伏期間は 12 時間 動物の排泄物が原因 加熱に弱い
ブドウ球菌 ：潜伏期間は **3 時間** 体の表面や空気中などあらゆる場所に存在 加熱無効
ボツリヌス菌：潜伏期間は 18 時間 土壌や家畜に多く存在 神経を侵す毒素を持ち、致命率高い

練習問題

食中毒について誤っている記述はどれか。

- 1 ブドウ球菌は潜伏期間が短い
- 2 病原大腸菌は細菌型である
- 3 サルモネラは加熱で防げる
- 4 腸炎ビブリオは塩分に弱い

2 類感染症なのはどれか。

- 1 ジフテリア
- 2 パラチフス
- 3 コレラ
- 4 ペスト

食中毒の潜伏期間で最も短いのはどれか。

- 1 黄色ブドウ球菌
- 2 サルモネラ菌
- 3 ボツリヌス菌
- 4 腸炎ビブリオ

9 環境汚染

環境とは、人を取り巻く有形無形の外部条件の全てのことである。

物理的環境：気候、光、熱、気流、紫外線、放射線、騒音、振動

科学的環境：大気、有害ガス、個体粒子、土壌など

生物的環境：人間、動植物、微生物など

人工的環境：社会、経済、政治、文化、医療など

昨今の環境問題のイロイロ

人口増加：2050年には100億人を突破されている

⇒ 人口増加はエネルギー消費や環境汚染につながる

地球温暖化：原因は化石燃料の燃焼、森林破壊などによる**二酸化炭素の増加**、**メタンガスの増加**

⇒ 温室効果による地球温暖化は生態系の破壊、海面上昇など

オゾン層の破壊：**フロンガス**の放出によりオゾン層が破壊（オゾンホール）

⇒ 有害紫外線が増加し皮膚癌の増加が懸念される

酸性雨：化石燃料に含まれる**硫黄酸化物や窒素酸化物**が雨に溶けて降水

⇒ 森林の枯死、土壌金属の溶出などが起こる

砂漠化：過放牧、過剰な伐採、不適切な灌漑により土地の砂漠化が進む

生物種の減少：経済の成長に伴い、他の生物種の生息域が失われている

光化学オキシダント：CO₂などの一次汚染物質と太陽光による化学反応で生成される刺激性物質

練習問題

地球温暖化の最大の原因はどれか。

- 1 山火事
- 2 森林伐採
- 3 化石燃料の消費
- 4 フロンの放出

オゾン層の破壊と関係ないのはどれか。

- 1 フロンガス
- 2 二酸化炭素
- 3 有害紫外線
- 4 皮膚癌

10 公害

公害とは、事業活動や人の活動に伴って生じる相当範囲にわたる

典型 7 公害：大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭

4 大公害：水俣病（熊本 メチル水銀） 四日市ぜんそく（三重 硫黄酸化物）

第 2 水俣病（新潟 メチル水銀） イタイイタイ病（富山 カドミウム）

大気汚染物質のイロイロ

硫黄酸化物 気管支喘息や慢性気管支炎の原因となる 酸性雨の原因にもなる
(SO_x)

窒素酸化物 肺気腫やオキシダントの原因となる 自動車の排ガスに起因する
(NO_x)

一酸化窒素 頭痛や物忘れを引き起こす 自動車の排ガスに起因する
(CO)

浮遊粒子状物質 慢性気管支炎などの原因となる 工業や自動車から排出される細かな微粒子
(SPM)

水質汚濁のイロイロ

メチル水銀 水俣病の原因 生物濃縮を起こす

カドミウム イタイイタイ病の原因 腎臓に蓄積し腎障害を起こす

PCB 皮膚障害や肝障害を起こす 生物濃縮を起こす

鉛 下痢や便秘、貧血を起こす 飲み水や土壌から野菜などに存在する

その他、シアンやヒ素、有機リンなどがある

騒音について

苦情件数は、典型 7 公害のうち最も多く、1/3 を占める

騒音の単位はdB（デシベル）。静かな夜中は 25 dB程、交通量の多い道路端で 75 dB程。

騒音性難聴の原因となるdB数は、90～100 dBとされる

練習問題

公害による健康被害でないのはどれか。

- 1 水俣病
- 2 イタイイタイ病
- 3 川崎病
- 4 四日市ぜんそく

環境基本法で典型 7 公害に含まれないのはどれか。

- 1 大気汚染
- 2 水質汚濁
- 3 悪臭
- 4 放射能汚染

11 母子保健について

子供の区分

周産期：妊娠 22 週～生後 1 週まで

新生児：出産～生後 4 週まで

乳 児：出産～生後 1 年まで

幼 児：生後 1 年～6 歳まで

母子保健に関する指標について

死 産：妊娠 12 週以降の死産 自然死産より人工死産が多い

死産率：出産 1000 に対する割合 日本は約 13 妊娠中毒症によるものが多い

周産期死亡：妊娠 22 週以降の胎児死亡＋早期新生児死亡（生後 1 週まで）

周産期死亡率：出生 1000 に対する周産期死亡数 日本は約 5

新生児死亡：生後 4 週未満の死亡

乳児死亡：生後 1 年未満の死亡

乳児死亡率：出生 1000 に対する乳児死亡数の比率 日本は約 3.2（先進国で最も低い）

低体重児：出生体重が 2500g 未満 知事に届出が必要 保健婦が訪問指導を行う

妊婦の感染：妊娠初期の風疹に感染すると、先天奇形が出やすい

妊産婦死亡率：出生 10 万に対する妊産婦の死亡数 日本は 6.6

妊娠中毒症、異常出血、敗血症、子宮外妊娠などが原因

母子保健対策のイロイロ

母子保健法：子供を産むための援助、生まれてからの援助

母子健康手帳：市町村が交付する

健康診査：公費負担で受けられる

エンゼルプラン：子供を産み育てる環境作りの施策

練習問題

母子健康手帳を交付するのはどこか。

- 1 厚生労働省
- 2 都道府県
- 3 市町村
- 4 保健所

妊娠初期に最も注意しなければいけないのはどれか。

- 1 高血圧
- 2 風疹
- 3 タンパク質
- 4 貧血

12 学校保健について

学校で行われる児童生徒・教職員の健康保持増進のための諸活動をいい、保健教育と保健管理に大別される。

保健教育：児童生徒の健康生活能力の発達をめざす教育活動　いわゆる「保健の授業」

保健管理：健康を保持増進するための世話ないしサービス活動

- ・健康診断　　　　　　　：就学時健康診断、定期健康診断、臨時健康診断
- ・ツベルクリン検査　　　：小学１年と中学１年で実施　結核の検査
- ・健康相談　　　　　　　：医師やカウンセラーが担当
- ・衛生管理　　　　　　　：飲料水の水質調査など

学校伝染病

第１種：ポリオ、ジフテリア、コレラ、腸チフス、細菌性赤痢　など

第２種：インフルエンザ、百日咳、結核、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘　など

第３種：流行性角膜炎、急性出血性結膜炎、腸管出血性大腸菌感染症　など

健康状態

近視や肥満は増加傾向にある。

最も高い罹患率なのはう歯（虫歯）で 80%以上が罹患しているが、保有率は減少傾向である。

練習問題

学校保健管理について誤っているのはどれか。

- 1 健康相談
- 2 健康診断
- 3 健康保険
- 4 飲料水の水質調査

近年の小学生の健康状態について正しいのはどれか。

- 1 むし歯の保有率は増加している
- 2 視力低下は増加している
- 3 肥満傾向は減少している
- 4 負傷の種類別では骨折が 50%以上を占めている

学校伝染病の第２種でないのはどれか。

- 1 水痘
- 2 風疹
- 3 結核
- 4 急性灰白髄炎

13 産業保健（労働衛生）について

労働衛生の意義：働く人の疾病・労働災害・職業病を予防し、健康を保持増進させる

構成：**健康管理・作業管理・作業環境管理**

従事者：統括衛生管理者、衛生管理者、安全管理者、産業医、作業主任

行政所轄：厚生労働省～労働基準局～労働基準監督署 環境衛生監視員（地方行政）

事務所衛生基準とは

室温 17～28℃、湿度 40～70%、CO₅₀ppm 以下、CO₂5000ppm 以下などの数値目標
50 人以上の事務所で衛生管理者と安全管理者を 1 人置き、人数に合わせて増やすこと
産業医の規定として、50 人以上の事務所は兼任、1000 人以上の事務所は専任 など

職場における健康診断：一般健康診断、特殊健康診断、臨時健康診断

トータルヘルスプロモーション：健康測定を行った後、全員に運動指導と保健指導を行う

職業病のイロイロ

物理的環境因子

熱中症（高温多湿環境）、減圧症（潜水などの高圧環境）、騒音性難聴、局所振動障害、放射線障害

科学的環境因子

一酸化炭素中毒（ガス配管業など）、酸欠症（タンク内作業など）、有機溶剤中毒（接着剤など）

金属中毒（カドミウムや水銀）、塵肺症（坑内作業） など

作業条件による健康障害

頸肩腕症候群（レジ作業や VDT 作業）、腰痛症（重労働）、ノイローゼ（人間関係）

練習問題

誤っている組み合わせはどれか

- 1 チェーンソー作業 — 局所振動障害
- 2 レジ作業 — 頸肩腕障害
- 3 VDT 作業 — 聴覚障害
- 4 坑内作業 — 塵肺症

企業における労働衛生管理の従事者でないのはどれか

- 1 衛生管理者
- 2 作業主任者
- 3 環境衛生監視員
- 4 産業医

産業保健対策について誤っているのはどれか。

- 1 労務管理
- 2 作業環境管理
- 3 作業管理
- 4 健康管理

14 成人保健について

生活習慣病：多数の環境因子や生活習慣が総合的に作用して、加齢による心身変化を生じる慢性疾患
高脂血症、高血圧、脳血管障害、心疾患、がん、糖尿病、歯周病 など
生活習慣病の死亡割合は、全死亡理由の 60~70%と言われる

日本人の死因ランキング

1 位	悪性新生物	2 位	心疾患	3 位	脳血管障害	4 位	肺炎	5 位	老衰
	(30.1%)		(15.8%)		(10.7%)		(9.8%)		(3.4%)

増加傾向：肺がん 大腸がん 乳がん 心疾患 糖尿病 腎不全

減少傾向：脳血管障害 胃がん 子宮がん

男性のがん死亡率 1 位 肺がん 2 位 胃がん 3 位 大腸がん

女性のがん死亡率 1 位 大腸がん 2 位 肺がん 3 位 膵臓がん

がんの危険因子

肺がん：喫煙、大気汚染 胃がん：不適切な食事（塩分） 大腸がん：食生活の欧米化
食道がん：喫煙、強刺激の飲食 喉頭がん：喫煙、飲酒、発声酷使

心臓疾患の危険因子

高血圧、高脂血症、喫煙、動脈硬化、糖尿病、肥満、運動不足、多量飲酒

脳血管障害の危険因子

高血圧、動脈硬化、過激な労働、ストレス

高血圧の危険因子

食塩多量摂取、肥満、ストレス

糖尿病の危険因子

遺伝要因、肥満、ストレス 肥満の指数 BMI・カウプ指数・ローレル指数・ブローカ指数

練習問題

わが国で最も多い死因となる疾患は次のうちどれか。

- 1 脳血管障害
- 2 心疾患
- 3 悪性新生物
- 4 糖尿病

高血圧が発症の危険因子となる疾患はどれか

- 1 肝がん
- 2 脳血管障害
- 3 リウマチ性心疾患
- 4 糖尿病

15 老人保健について

高齢化社会：老年者の人口は全人口の 25%を超えており、国民医療費の 1/2 を占めている
後期高齢者医療制度の内容

医療の対象：75 歳以上の者、及び 65 歳以上の一定の障害のある者

運営主体：各都道府県内の全市町村が加入する広域連合

医療保険：国保・健保などから脱退し、後期高齢者精度に加入する

保険料：所得に応じて決められた保険料を被保険者全員が支払う

負担割合：1 割（現役なみの所得者は 3 割）

16 精神保健について

精神病：統合失調症 躁うつ病 臓器質性精神障害 てんかん

精神遅滞：知能が著しく劣る（IQ70 以下） 神経症、心身症 など

通院医療：医療費の 1/2 は公費負担

デイケア：通院患者に対し、集団精神療法などを行う

入院医療：入院患者数は統合失調症が最も多い

任意入院：権限者は病院管理者	本人の同意が必要 70%はこの形
医療保護入院：権限者は病院管理者	指定医の判断+保護者の同意
仮入院：権限者は病院管理者	指定医の判断+保護者の同意
応急入院：権限者は都道府県知事	急を要するかつ指定医の判断
措置入院：権限者は都道府県知事	2名の指定医の判断 全額公費負担
緊急措置入院：権限者は都道府県知事	自傷他害のおそれ+指定医の判断

練習問題

精神病ではないものはどれか

- 1 躁うつ病
- 2 統合失調症
- 3 精神遅滞
- 4 てんかん

精神障害者の入院について、本人の同意により行われるのはどれか。

- 1 措置入院
- 2 医療保護入院
- 3 応急入院
- 4 任意入院

精神保健について、正しいのはどれか。

- 1 入院患者では統合失調症が最も多い
- 2 神経性食欲不振症は男性に多い
- 3 アルツハイマー病は若年者に多い
- 4 アルコール依存症は減少している